#### (単元) SDGs の旅

#### (本時のねらい)

私たちの身のまわりには様々な問題があることを知り、先人がどのようにその問題と向き合ってきたか、信憑性のあるサイトから情報収集を行い、課題に気づき、問い立てを行う。

# (ICT 活用方法)

ICT を活用することにより、より早く、より広い範囲の様々な国を知ることで、魅力的な側面があることに気づく。従来は、図書による情報収集やインターネットを介しての個人としての情報収集は行えていたが、情報を共有する、そしてその信憑性についても注意し、取り上げた情報の優先順位をつけられることをねらいとした。

## (本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT活用方法	備考
導入 5 分	○本時の内容	○人権問題学習 HR 活動		
	を確認する。	で、北海道について、特に		
		アイヌの文化や民族問題		
		について考えたことを確		
		認する。		
	○世界を巡る	○グループワークで行	○情報収集する際	
	中で, 自身の	い、全員理解しているこ	に,その信憑性につ	
	力でその国の	とを確認する。	いても検証する。	
	実情 (経済·	○どんなに輝いて見える	【注意する点】	
展開	社会・環境・	国であっても,課題がま	更新日時	
35分	民族・言語な	ったくない国などないこ	出典, 引用, 参考文	
	ど)を調べ,	とにも気づいているか注	献の表示があるか	
	課題発見・整	意を促す。	事実か,その人の意	
	理する。	○SDGs の視点を踏まえ	見か	
		ているか注意を促す。		
まとめ 10分	○グループ内	○感想だけに終わるこ	○まとめたものを画	
	で情報を共有	となく、授業中に気が	像等で保存し,記録を	
	する。また次	ついたことや考察した	適宜残していく。情報	
	回までに調べ	ことをメモし、探究の	をアップする際, 簡素	
	てくることを	サイクルになっている	化するあまり本質が	
	確認する。	か確認させる。	抜けていないか注意	
	○上記のこと	○電子黒板を用いて,	する。	

をクラス内で	情報の共有を行う。	
共有・確認を		
行う。その		
際,電子黒板		
で情報を共有		
し、協働的な		
作業を行う。		

### (授業の様子)





• 国の特徴(有名な観光地や文化、国民性など)について調べる。

research ・事実やデータを集めて、課題を発見する

•経済、社会、環境で調べたことを関連づける。

relate ・線でつないだりして表してみる。

• グループで話し合う。視点をさらに広げる。

discuss ・お互いの情報や視点を交換する。

・課題の背景や要因について調査し深める。

ve ・自分たちの日常とその国の課題とのつながりを発見する。

どんなアクションであれば、その国の課題に良い影響を与えられるか考える。

dialogue ・自分の中にある考えをみんなに伝え、まとめる。

発表準備に取りかかる。

output ・聞き手の心に届くように、伝え方を工夫する。

(生徒の反応と課題,改善を要する点)

情報検索には慣れている一方で、複数サイトと比較し、必要な情報を取り出すといったことに課題があった。ICT はあくまでツールであり、集めた情報のつながりや全体像を把握するといったスキルが必要である。

これからの時代を生きていく生徒にとって、ICTを用いて時間的、また空間的距離をなくし、より効果的に理解を深めていく能力を育てていかなければならない。指導する側と生徒との架け橋にICTがあることを理解し、授業展開していきたい。

Ļ